

令和2年度 第3回

交野市水道事業経営審議会

議事要旨

令和2年10月26日開催

## 交野市水道事業経営審議会（第3回） 議事要旨

開催日時	令和2年10月26日（水）15：30～
開催場所	交野市星の里浄水場 会議室
出席委員	後藤会長、市岡副会長、谷野委員、森本委員、吉信委員、代永委員、冨田委員
傍聴者	なし
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 議事                  中長期の投資試算・経営健全化の概要                  ～今後の交野市水道事業経営について～</li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
資料	次 第 資 料 1   中長期の投資試算・経営健全化の取り組みの概要 ～今後の交野市水道事業経営について～ 参考資料1   財政収支均衡のための具体的実施内容 参考資料2   財政シミュレーションの推移
所管	交野市水道局 総務課

## 議事概要

### 1. 開会

事務局より、開会の挨拶

### 2. 議事

中長期の投資試算・経営健全化の概要 ～今後の交野市水道事業経営について～  
事務局より、資料1「中長期の投資試算・経営健全化の取り組みの概要」、参考資料1「財政収支均衡のための具体的実施内容」及び参考資料2「財政シミュレーションの推移」について説明

— 以下、質疑応答 —

会長

各委員さん、何かご意見があればお願いします。

委員

この審議会も今日で3回目ですけれども、第1回目、第2回目そして本日3回目とグラフ等を利用して非常にわかりやすく説明していただきました。以上の経過を踏まえ、今後は事業の存続のために料金改定の検討について進めるべきだと考えております。

委員

老朽化の管路の改修ですが、他市に比べて交野市は老朽化が早いんですか？

事務局

昭和46年に市になっておりますので、その前後に開発が一番進んでいた時期がございまして、その頃に一番管路の進捗が伸びておりまして、それを民間業者が開発した分も含めて水道局がいただきまして管理をしているということで、40年を過ぎるとそろそろ老朽管といわれる分類になってきますので、開発時期という観点から、交野市も急激に今、老朽管率が上がってきている最中がございます。

委員

昭和40年代から交野市に住んでいるんですけども、その頃が一番古い開発時期ですか？そうでしたら結構老朽化が進んでいるということですか？

事務局

管の更新は40年というのが目安となっております。ただ施設の老朽化は交野市だけの問題だけではなく、全国的にその時代に開発が進んだとか管を入れているのが多いということがあるので、全国的に管の問題が出てきたというのは最近でございます。

委員

安心な水を飲むために、大きな事業を多くしているということは非常に有難い

と感じています。それにより水道料金の原価割れがあって、尚且つ料金が上がってないというのは実に不合理なことだと思っております。料金収入というよりも、必要な経費が足らなかったらどこか補填しなければいけないのに、結局は起債を起こしている。国の方で許可してくれてることだと思うんですけども、それだけに頼って今までやっているということに疑問を感じます。それを今解消していくということをしっかり考えていかないと、次の世代に負担を残していくことを避けないといけないと思います。また水道局職員の人数が7割になっている状況で実際事業が適正に出来ているのかなという気がします。外部への委託という形で賄っているのだとは思いますが、単純に職員を減らせばよいということでもないと思いますし、それらを考えるとそろそろ料金の見直しが必要になってくるのかなと感じています。

委員

料金の話にシフトしていくという形で良いと思います。あと、市民のみなさんにどう理解していただくかというのが一番肝心なところだと思うので、市民への説明を事務局なり我々委員がどう発信するのか、そういったところも審議会で話し合えたらなと思います。

委員

第1回、第2回、今回いろいろなご説明をいただきまして、その結果を踏まえていけば、料金改定ということのをこれからしっかり考えていかなければならないなと思いました。

委員

参考資料で、一般会計から補填してもらおうとする繰入金なんですが、なぜ児童手当が繰入されるんですか？

事務局

国の制度で一定割合の繰入金制度というのがございまして、その中で一定繰入算定という考え方がありまして、その部分については市役所から水道局へ補填してあげなさいという指針みたいなものがございまして、法律的に水道局職員は市から出向している職員ですので、一部法定内で認められた繰入金をもらおうという意味合いでございまして。

委員

今、資金が8億を下回らないという形でのタイミングで料金改定をした場合、約10年後に改定率40%の値上げが必要だということですけども、市民の負担としていくら改定するにしても、短い期間の方が実現的で市民にも受け入れてもらえるようになると思います。説明の仕方で早い時期にする方が改定率が下がってくることを前提にすると、独立採算制ですので、経営改善するにしても無理な改善を水道ビジョンで示しているより、ある程度の時期に料金を改定していただくという方が市民に対しての水道事業としてのやるべき説明だと思います。ま

た一度そういうことを市民に説明して、納得していただいて、ある程度やむを得ないという形になるぐらい表に出して検討していただいたらいいのではないのかなと思います。

委員

資料1の18ページの口径20mmの1か月料金で、10㎡～70㎡まで計算されていて、大阪府下の平均よりも交野市は全部下回っているのが料金が安い方だということなんですが、料金を上げる話の時に市民が納得する資料としては、すごく有効だなと思います。交野市が高いというイメージが先走ってまして、実は現状どこの市町村よりも安いということと、改定のシミュレーションをされるのであれば平均値ぐらいにもっていけば、市民のみなさんに納得していただきやすいのではないのかなと思います。平均値より上にすると、実際試算的にどうなるのかという問題もありますけれども、平均値にするとシミュレーション的にどうなるのかというのを知りたいと思いました。

事務局

今後も審議会は続きますので、その中で委員のみなさんの意見を聞きながら資料を提出して、ご議論していただきたいと思っております。事業のシミュレーションについても、20年・30年先を予測するよりも委員のおっしゃられた短い期間、例えば5年の期間で検討をお願いしていきたいと思います。

事務局より今後の審議会の進め方及び中間報告を取りまとめた旨について説明

会長

ただ今、事務局より説明のありました中間報告の取りまとめについてご異議ありませんか？

委員全員

異議なし。

会長

それでは今後は料金改定について検討していくこととしまして、まずは中間報告を取りまとめることといたします。

それでは、本日の議事はこれまでといたします。

3. その他

第4回開催予定等について事務局説明

4. 閉会

以上